

会 議 名	第2回港区三光学童クラブ運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和元年11月5日（火） 11時20分から 12時まで
開 催 場 所	高輪地区総合支所4階会議室
委 員	出席者 4名 阿部委員、秋山委員、岩崎委員、野上委員
事 務 局	高輪地区総合支所管理課 佐藤課長、施設運営担当 永吉、出口
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題の審議 議題1 第一次審査通過者の決定について 議題2 第二次審査について （1）プレゼンテーションについて （2）追加要望資料の有無について 4 今後のスケジュール 5 閉会
配 付 資 料	[席上配布] 資料1 第一次審査集計表 資料2 第一次審査コメント一覧 資料3 第一次審査事務局採点基準 参考資料1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について 参考資料2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）表
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会  2 議題の審議 【議題1 第一次審査通過者の決定について】 第一次審査結果について説明 なお、B事業者がワークライフバランス推進企業に該当し加点対象ですので、委員採点の一次審査評価点の5%を加算しています。 また、区内事業者はありません。
委員長	審議にあたる前にまず皆様にお諮りします。本日野澤委員は欠席です。野澤委員の第1次審査の点数を事前に提出された通り採用してよろしいでしょうか。
委員一同	（承諾）
委員長	それでは第一次審査について審議いたします。

委員A	<p>まず、採点の結果について各委員から講評をお願いします。</p> <p>A事業者は、全体的に学童クラブに適した具体的な提案ができており、優れた事業者と感じました。</p> <p>5事業内容(3)施設条件の特性をふまえた事業運営に関する工夫や地域の特性を生かした事業について、施設特性、地域のイベントをよく把握した上での提案内容でした。5(6)小学校や周辺施設、地域と等の連携については、地域資源をよく把握していると感じました。</p> <p>B事業者は、全体的に普通の提案内容と感じました。不足を感じた内容は、4安全対策・危機管理(1)日常的な児童の安全確保の取組です。こちらは一般論に終始しており、地域性に沿った安全管理、特に危険な箇所の把握等が少し不足していると感じました。</p> <p>課題の把握をしているものの、課題への対応が、全体的に少し不足していました。5(4)児童からの相談に対する対応について、言語が通じない児童への具体的な対応策が不足していると感じました。</p> <p>C事業者は、地域特性への把握は評価しますが、他の事業者と比べて劣っていると感じる部分がありました。特に、児童に対し管理的に見えます。4(1)日常的な児童の安全確保の取組について、子供へのルールが列挙されており、職員の対応や、活動へのイメージよりも、ルール重視と感じました。5(7)障害のある児童への配慮について、障害のある児童が常時使える状態に無いように見える記述から、低い評価にしました。5(4)児童からの相談に対する対応について、活動の説明が中心になり、児童からの相談へ対応する要素が見られなかったため、一番低い評価にしました。</p>
委員B	<p>A事業者は、地域との関係も踏まえ、非常に安心して事業をお任せできると感じました。その点からA事業者には全ての項目において、4と5の評価をつけました。</p> <p>B事業者への評価としては、3が9項目、4が5項目、5が1項目としました。4安全対策・危機管理(2)事故・災害発生時の対応、区や関係機関への報告・連絡体制について、発災時から保護者に引き渡すまでの対応や、ミマモルメを利用した情報発信等、地域に即した対応を明示されていたため、5と評価しました。</p> <p>C事業者は、大変管理的な視点から子供に関わろうとする見解が見られました。多くの項目で3、2項目に2の評価をしました。1つ目は、4(1)日常的な児童の安全確保の取組の中で、「勝手に出ていかない」など、管理的な表現が強かったので、子供の自発性を大切にしたいと感じました。2つ目は、4(2)事故災害等の発生時の対応、区関係機関への報告連絡体制について、区関係機関への連絡体制は記載がありましたが、一番大切な、子供の保護者への引渡しについて、提案書の記載からは伺えませんでした。</p>
委員C	<p>A事業者は、ほぼ丁寧にわかりやすい記載と感じました。唯一普通とつけた項目は、5(2)児童の状況や年齢に応じた育成、異なる学年の交流で、丁寧な記載ですが、イベントでの異年齢交流は記載があるものの、日常での異年齢の交流の考え方がやや乏しいと感じました。三期休業中の仕出し弁当の取組など、チャレンジングな内容は面白いと思いました。</p>

	<p>B事業者は、5（2）児童の状況や年代に応じた育成、異なる学年の交流について、異年齢交流の記載は省かれ、施設条件や地域特性の把握についてもやや不十分と思いました。全体的にはよい事業者と感じました。</p> <p>C事業者は、4（2）災害発生時の報告連絡体制についての考え方が聞きたいです。これは、図表が中心で考え方の記述がみられませんでした。5（1）年間事業計画は事業の羅列だけであったため、2としました。ここは評価の視点として、他の委員にも確認が必要かなと思います。5（4）児童からの相談に対する対応は重要な項目に思いましたが、児童からの相談についてほとんど言及されていない状況でした。以上から、私もこの事業者については低い評価としています。</p> <p>3事業者のうち、C事業者は低い評価にしました。A事業者、B事業者は両方ともほとんど安定感があると判断したため、差が出ていません。</p> <p>A事業者は、4（4）おやつ提供にあたって、おやつを学びと体験の機会とする工夫をされていてなかなか良いと感じました。5（2）児童の状況や年齢に応じた育成について、遊びや運動の視点が多く、これも評価しました。</p> <p>B事業者は、2（2）児童の健全育成について、割と堅実な考え方を持っていました。4（1）日常的な児童の安全確保において、子供たち自身による安全対策を明確に打ち出していることが大変いいと思います。大人が子供を守るのは当然ですが、子供たち自身が自分を守るようにどう育つかという視点があることはいいと思います。4（4）おやつ提供において、おやつが生きる意欲に繋がるという考え方はいいと思います。5（1）でバランスとペースがいい年間事業計画です。5（5）保護者への対応では、保護者からの意見を苦情ではなく対話のきっかけととらえる視点、前向きに話を進めていく問題解決の方策として評価しました。</p> <p>しかし、5（3）施設条件の特性、地域特性をあまり具体的に把握していないと思いました。5（6）小学校、周辺地域との連携は、交流の内容が具体的ではあったものの、積極性や主体性が欲しいと思いました。</p>
委員D	<p>各委員からご意見伺いました。</p>
委員長	<p>点数の修正をされたい委員はいらっしゃいますか。</p>
委員B	<p>C事業者の点数を変更します。5（1）年間事業計画の実現可能性から、評価5を4に、5（3）施設の条件特性等を踏まえた事業運営に関する工夫等について、評価5を4にします。</p>
委員A	<p>C事業者の5（3）施設特性に関して、記載の不足を改めて感じましたので、評価5を4に変更します。</p>
委員C	<p>B事業者の4（1）日常的な安全確保の取組を、満点をつけていましたが、他の委員のご意見を伺い、評価5から4に修正します。</p>
	<p>C事業者の5（1）年間事業計画については、羅列していたため評価を低くしましたが、内容的には特段問題がないため、2から3に修正します。</p>
委員長	<p>事務局採点について、すでに採点基準は各委員メールにて確認しています。一部、説明をお願いします。</p>
	<p>C事業者が、1類似事業の受託実績で1点、3（2）責任者・職員の配置の項目で2点、3（4）職員研修で2点、6（1）本部の支援体制で2点とした理由をご説明ください。</p>

事務局	<p>また、7 受託に関する経費がすべての事業者で2点とした理由もご説明ください。</p> <p>1 類似事業の受託実績は、法人が運営する、児童館、学童クラブ、保育園などの児童福祉施設の実績で、10施設未満は1点としております。3（2）責任者・職員の配置が2点の理由として、常勤職員の8人を基準とし1人少ない7人の提案となったためです。3（4）職員研修で2点の理由として、項目を5つ設定し、項目1つにつき1点ずつ加算したその合計値としております。6（1）本部の支援体制で2点の理由として、項目を5つ設定し、項目1つにつき1点ずつ加算したその合計値としております。</p> <p>7 受託に関する経費は、参考事業規模額に対して92.5%以上で100%以下の幅にあるものは2点という基準を設けております。すべての事業者がここに入っておりましたので、2点としております。</p>
委員C	<p>資料3については、補記した方がいいと思う点があります。事務局採点のところの、例えば、人材確保・職員採用について、以下の項目が記載につき1点ずつ加算したとあるのですが、内容について言及がありません。そのため、箇条書きがあれば点数が付くという状況です。項目の記載があり、かつその内容について、明確に方向性が示されていれば1点、ただ見だしがあるだけなら評価しないということにしないと、採点基準として不十分だと思います。そこはきちんと採点していただいたと思いますが、念のため、確認しました。</p>
事務局	<p>得点に繋がるか否かは、記載していることと、内容をしっかり伴っていることが必要だと思います。十分確認はしておりますが、再度確認の上、記録します。</p>
委員長	<p>他にご意見はありませんか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
委員長	<p>それでは、第一次通過者の決定をしたいと思います。</p>
事務局	<p>事務局から点数の確認をお願いします。</p>
事務局	<p>第一次審査の集計結果は、A事業者795点、B事業者725点、C事業者は552点です。順位は、A事業者→B事業者→C事業者です。</p>
委員長	<p>それでは、この点数に確定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>（承諾）</p>
委員長	<p>続いて、第一次審査通過事業者を決定したいと思います。</p>
事務局	<p>A事業者の得点が一番高く、B事業者についても、二次審査における逆転可能性が大いに残ります。C事業者については基準の6割を満たしておりません。以上を鑑み、第一次審査通過者について審議をしたいと思います。</p>
委員C	<p>1次審査におけるC事業者の得点率が55.2%と6割を満たしておらず、BとC事業者の点差があり逆転はほぼ難しいという状況からすると、第2次審査は上位2社で臨みたいと考えます。</p>
委員長	<p>いかがですか。</p>
委員一同	<p>（承諾）</p>
委員長	<p>それでは第一次審査通過事業者は、A事業者とB事業者の2社に決定いたします。</p> <p>【議題2 第二次審査について】</p>

事務局	第二次審査について説明
委員長 委員C	第二次審査について、ご意見ございますか。 1次審査の通過者が2者のため、ヒアリングについては15分間にしてはいかがですか。
委員長	プレゼンテーションのヒアリングの時間を15分間にする、パソコンやプロジェクターは使わない、資料はA4の用紙片面1枚ということによろしいでしょうか。
委員一同 委員長	(承諾) 2次審査では、施設長候補者は必ず出席、通常ですと1事業者から全部で3名程度出席しますが、施設長を支える現場の中心になる人がもし来られるようだったらできる限り来ていただくという条件を追加したいと思います。いかがですか。
委員一同 委員C	(承諾) 質問に対する回答は簡潔にすることを、丁寧に候補者に説明してください。効率的に話を聞くために、委員からの質問は1人1問ではなく、主に現場や学識経験者の委員から質問していただき、行政の方はそれを見て、意欲等々を採点することではいかがでしょうか。
委員一同 委員長 委員一同	(承諾) 以上でよろしいでしょうか。 (承諾)
事務局	4 今後のスケジュールについて 今後のスケジュールについて説明
	5 閉会